

施設長の川野 博文
施設長の川野でござい
ます。皆様方、日頃
より若松児童ホーム及
び子ども達に多くのご
支援、ご協力を賜り、
心よりお礼申し上げます。
子ども達は、日々
の生活の中で様々な経
験を重ねながら、一歩
ずつ成長しております。
安心して過ごせる
環境の中で、自分らし
さを大切に、将来へ
の希望を育んでいける
よう、職員一同、一人
ひとりに寄り添いなが
ら支援に努めておりま
す。子ども達の健やか
な成長は、地域の皆様
をはじめ関係機関、そ
して多くのご支援くだ
さる方々とのつながり
によって支えられてい
ます。これからも、子
ども達が笑顔で未来へ
歩んでいけるよう、地
域に開かれた施設を目
指し、より一層努力し
てまいります。今後と
も変わらぬご理解とご
支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上
げます。



施設長
ごあいさつ

若松児童 ホーム

2026 No.37

発行 社会福祉法人若松児童ホーム
〒808-0061
北九州市若松区大池町1番1号
TEL 093-761-3096

新職員紹介

ケアワーカー 衛藤 志歩
今年度より、ケアワ
ーカーとして若松児童
ホームに入職させてい
ただきました。衛藤志
歩と申します。現在は、
地域小規模施設『みな
と』を担当しております。
不慣れな事も多く
ご迷惑をお掛けしてし
まう日々ではございま
すが、先輩職員に支え
ていただきながら、心温
まる環境のもと過し
ていきます。今後は、大
学にて学んだ福祉の視
点も活用しつつ、子ども
たち一人ひとりの思いに
寄り添ったかわりにお
心安全の場の実現に向
けて精進して参りま
す。また、様々な事に挑
戦、経験する事を通し
て、子どもたちと共に成
長していきたいと考
えております。どうぞよ
ろしくお願いいたします。



ケアワーカー 高田 華
この度、若松児童ホ
ームの地域小規模施設『そ
よ風』の担当になりました。
高田華です。3年間
保育の専門学校に通
い、発達や支援につい
て学びました。その学
びを活かしながら、子
どもたち一人ひとりの気
持ちに寄り添い、安心
して過ごせる環境づく
りを大切にしながら支
援に取り組んでいこう
と思います。まだ分か
らない事も多く日々勉
強の毎日ですが子ども
達との関わりを通して
共に成長していきたい
です。また、先輩職員
の方から多くの事を学
びながら、1日でも早く
施設や子どもたちの力
になれるよう頑張ら
します。よろしくお願
いいたします。

トリーに子どもたちと関
わることを心掛けてい
ます。まずは、一人ひと
りと丁寧なコミュニケーション
を築くことを大切に
しています。最初は分か
らない事ばかりで不安
もありましたが、子ども
たちの個性に気づくと
ともに日々一緒に成長で
きる事に喜びややりが
いを感じています。これ
からも初心を忘れず、
子どもたちの支援に努
めてまいります。どうぞ
よろしくお願ひ致しま
す。

地域小規模施設 ひまわり開設

令和8年4月に、新
たな地域小規模施設
「ひまわり」を開設い
たしました。ひまわり
では、高校生1名、中
学生3名、小学生1名
の計5名の女子児童が
生活し、5名の職員が
日々の暮らしを支えて
います。

施設は昔ながらの温
かみのある一軒家で、
広い庭が自慢です。庭
には施設名の由来でも
ある「ひまわり」と「さ
つまいも」を植えてお
り、子どもたちは成長
を楽しみにしながら毎
日水やりを行っています
。植物の成長を見守
る中で、協力すること
や継続することの大切
さを学んでいます。

「ひまわり」のように
明るく、たくましく成
長する」を合言葉に、
子どもたち一人ひと
りの個性や思いを大切
にしながら、安心して
生活できる家庭的な環
境づくりに努めていま
す。開設から2カ月が
経過し、子どもたちは
新しい環境にも慣れて
きて、お互いを思いや
り支えあう中で、笑顔
の絶えない暖かな関係
が育まれています。
ひまわり開設にあた
り、たくさんの方々の
温かいご支援を賜り
ましたこと、改めまし
て感謝申し上げます。
本当にありがとうございます。
これからも職員一
同、子どもたちの声に
傾け、一人ひとりが自
分らしく輝けるよう支
援に努めてまいります
。ひまわりの花が太
陽に向かって咲くよう
に、子どもたちが希望
をもって未来へと歩ん
でいける施設を目指し
ています。今後とも「ひ
まわり」をよろしくお
願いします。



北九州市一里親の会 会員登録の流れ

子どもたちの笑顔のために、できることから。
まずはお気軽にご登録ください。



すべてのステップでサポートします! 安心してご参加ください。

登録後の活動(例)



ご不明な点は、各施設(支部)までお気軽にお問い合わせください。

★里親支援専門相談員通信★

北九州市一里親の
会は、昭和29年双葉学
園の子どもたちを近隣
住民が家庭に引き「手
をつなぐ」一里親会を
発足させたことに始ま
り、昭和45年市内児童
養護施設を対象とした
形になりました。一里
親の活動を通じて、あ
なたの成長に大きく影
響し、将来、家庭を持
った時に、第二の故郷
や実家のように慕っ
て暮らす卒業生もい
ます。

このたび、一里親の
登録制度の見直しが行
われ、資料のよ
うに会員登録の流れで
③研修を受ける④家庭
訪問が義務付けにな
り、毎月行われる審査
会を受けた後、会員と
して登録となります。
(北九州市の里親登録
認定を受けた方はその
まま一里親登録可能
です)

若松児童ホーム支部
では、現在5世帯登録
済で市里親登録認定を
受けている3世帯合
せて8世帯が登録。昨
年より活動を再開
しています。
その中で、一里親さ
んが「ステップアップ
」という中で、一里親
から市里親登録にむ
ける動きがあり、現在
令和8年7月の時点で
1世帯市里親登録の認
定を受け、1世帯は登
録申請中です。施設
里親支援専門相談員
として「ステップアップ
」は理想的な里親支
援の良モデルケース
として浸透して欲しい
と切に願っています。
「ステップアップ」里
親の段階としては、ま
ず「一里親の会員にな
り、社会的養護の理解
を深め、養育里親にチ
ャレンジし、最終的に
専門里親やファミリー
ホームへステップアップ
していくことが理想
とされています。いきなり
長期間の里親は自信が
ないけど、もともと社会
的養護への理解をしな
いと、など多くの声を
聴きながら実現でき
ていることは嬉しい限
りです。
しかし、課題も多く
北九州市には里親支
援する機関が、市子
ども総合センターと各
施設里親支援専門相
談員、児童家庭支援
センター、他地域の
ように「里親支援セ
ンター」や「フオス
タリング機関」が民
間でないのが現状で
す。
ある地域には、一
里親(地域)によって
週末里親などの呼称
が違っており、中心
に支援するNPO法
人が開設したり、里
親を孤立させない取
組が行われている地
域が増えていること
もあり、里親委託率
が上がる考えは、な
かなか安心してい
る安全な環境のもと
で、継続的に関わり
を持てる「信頼でき
る大人」との関係構
築できるようなこと
を里親支援に携わ
る者として希望し
ています。

里親支援専門相談員
川原 好幸
一日里親の会担当
里元 勇也

新しい「家」づくりプロジェクト

詳しくはこちら

プロジェクトの詳細や
ご支援については
ホームページをご覧ください。



若松児童ホームでは、子どもたち一人ひとりが安心して暮らし、自分らしく成長できる環境を目指し、新しい「家」づくりを進めています。現在、社会的養護では、大人数で生活する施設から、小規模で家庭的な養育環境へと移り変わっています。私たち子どもたち一人ひとりの暮らしに寄り添い、「家庭のような安心感」を大切にした施設づくりを目指しています。

新しい園舎は、子どもたちが安心して暮らす場所であるだけでなく、地域の子育て家庭が気軽に相談できる場や、親子が安心して集える場所として、地域に開かれた支援拠点となることも目指しています。

変わるのは園舎だけでなく「暮らし」のかたちです。子どもたちと地域の未来を育む新しい一歩を、皆さまとともに歩んでまいります。

子どもたちの未来につながる、新しい「家」へ

園舎の建替えが始まります

幼児旅行

令和7年10月、幼児7名と職員5名とで大分ハートモ二ランドに行ってきました。1日目はハートモ二ランドのオフィシャルホテルに泊まり、2日目にトラクションやステーションを楽しみました。



ボウリング大会

令和8年1月の冬休み期間を利用して、児童45名と職員45名の総勢90名が集まってボウリング大会を開催しました。このイベントは新型コロナウイルス流行により中止していたため、数年ぶりの開催となりました。21レーンを貸し切って盛大に開催することができ、好プレー・珍プレーの数々に笑顔があふれるイベントになりました。



善意の寄付者名

令和七年七月～令和八年八月

御芳志

- 石松紀美子様、井上正人様、宇佐美正則様、宇佐美京子様、大島建設様、岡部龍馬様、奥田麗智様、垣田真穂様、片瀬博治様、北九州市仏教会様、北九州プロバスケットボールクラブ様、ケイアイプランニング様、相原浩一様、公日本児童養護施設財団様、産業医科大学医学生祭実行委員会様、清水広子様、シャボン玉石けん様、築地新浩文様、つだこどもクリニック、院長津田恵次郎様、出口俊一郎様、藤堂正樹様、中井陽子様、中原美保様、中原真真君、風真君、古川雅之様、古谷俊雄様、三角雅彦様、未来子ども支援の会様、村本康弘様、八頭司正典様、柳宇佐美運輸機工業様、柳海渡設計会、長野田誠一様、柳プラスワンテクノ様
- eco eat 北九州八幡店、松井優様、eco eat 北九州小倉南店、池田大樹様、J A I F A 北九州協会代表様、M Y 様、秋山悟士様、旭倉庫様、S P A C E 様、麻見有加様、有村ケイ子様、イオン若松店様、池田年穂様、日本レコード協会様、未来を生きる子供たち様、井上正人様、井上美和様、宇崎商店様、宇佐美正則様、大瀬戸覚様、太田勇樹様、岡本健杜様、奥野青果店様、カープス永犬丸店様、カープスなかま店様、垣田真穂様、片瀬博治様、加藤会様、北九州市印章業組合連合会様、北九州市地区郵便局長会様、北九州高塔ライオンズクラブ様、九州アイスクリーム協会様、九州納豆組合様、九州労働金庫様、近畿大学九州短期大学様、くきのうみ小学校校長先生、くきのうみ小学校PTA様、ケイアイプランニング様、柳相原浩一様、毎日新聞西部社会事業団様、コストコホールセールジャパン様、子どもO E N D A N しよう様、さかなの新鮮組森虎井弘樹様、坂本保乃加様、佐藤善貞様、サンエツクス株式会社様、産業医科大学医学生祭実行委員会様、篠原欣子記念財団様、清水広子様、白川義樹様、柳秀文社印刷様、杉野由美子様、鈴木眼科クリニック様、住永栄緒様、生命保険協会北九州協会様、全国シヤンメリー共同組合様、全国食支援活動協力会様、瀧下正英様、武富孝司・珠美様、田中千晶様、田中農園様、たまあん山川直人様、千鳥屋本家若松店様、九十九雅代様、つだこどもクリニック
- 院長津田恵次郎様、筒井保博・むつみ様、津曲兼嗣様、出口俊一郎様、ときわ食堂山下史郎様、鶏大王サニート島店様、中尾俊彦税理士事務所、中尾俊彦様、仲尾米穀店、鴨生田様、中島哲郎様、永瀬英生様、中村美幸様、西村博之様、日光グループ様、日本鏡餅組合様、ハートリボン協会様、橋口守様、パルサポートキッズの会様、福岡県医薬品配置協会様、福岡県遊技業協同組合様、船戸重紀様、ブリッジフォースマイル様、古谷俊雄様、堀田顕英様、ほつともつと様、本城ぶりんと安徳清久様、本田茂夫様、増田幸絵様、松井健様、松尾商店、松尾尚子様、松の実会様、水江商店、水江真理子様、ムーンバット様、安田文哉様、八幡前田郵便局長、上田晃生様、山源様、山下志乃様、柳アトリエフォルマール様、読売光と愛の事業団西部支部様、ライフフィールド自立支援基金様、陸上自衛隊小倉駐屯地様、若松中学校野球部保護者様、若松まつり行事協賛会様、柳Dask & Desiree様、柳宇佐美運輸機工業様、柳王将フードサービス様、柳海渡設計会、長野田誠一様、柳機設様、柳講談社(ひろゆき)様、柳小倉縞縞代表、窪田秀樹様、柳佐藤建設様、柳サンゲツ様、柳

サンレー様、柳シラカワ取締役社長、白川春香様、柳ゾーン様、柳パイロットコーポレーション様、柳ハタリフジクリン様、柳フレイベル館様、柳エブリヤ様、ナカソラからの皆さま

スポーツ観戦・食事招待他・イベント招待

RIZIN FIGHTING FEDERATION様、北九州ライオンズクラブ様、九州労働金庫様、ゴルフドマンサックス証券様、社員一同様、柳西日本新聞民生事業団様、柳テイクシス社員一同様、福岡県市町村振興協会様、二島西公園祭り実行委員会様、ライジングゼファークオカ様、若松あつまる会様、若松まつり行事協賛会様、柳LogBof様、柳福岡銀行様、柳わっはっは様、柳劇団あらかると様、すまいるベアす(ひまわり)様、ありがとうございます

Instagramで子どもたちの様子やご寄付のお礼など投稿しています！「フォロー」「いいね」して下さると嬉しいです！



WAKAJI HOME